



演奏・舞踊 / サプトブドヨ
Saptobudoyo

構成 / サプトノ
Saptono

企画・監修 / 田村 史子
Tamura Fumiko

九州国立博物館開館9周年記念ガムランコンサート Kyushu National Museum Concert of Javanese Gamelan & dance

青銅の響き・悠久の舞

ジャワ宮廷文化の神髄を受け継ぐ〈サプトブドヨ楽舞団〉九州特別公演

2014/12/6(土)・7(日) 時間 / 13:00—14:00 観覧無料
場所 / 九州国立博物館 エントランス

ガドン(小編成ガムラン) / 12/7 ①10:00—10:30 ②11:00—11:30 4F 文化交流展示室 ※無料(ただし文化交流展の観覧料は必要です)

ワークショップ[有料] / ①12/6 15:00—16:30 舞踊ワークショップ ミュージウムホール ※要事前申し込み

②12/7 15:00—16:30 ガムランワークショップ エントランス ※要事前申し込み

主催 / 九州国立博物館 協力 / 筑紫女学園大学 お問い合わせ先 / 九博ガムランコンサート事務局 TEL 092-771-0152 (平日 9:30—17:30)

※時間、場所、内容等が予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。



アジア青銅楽器の華

～ジャワのガムラン～

ジャワのガムランは、大小さまざまな青銅のゴングや鍵盤楽器に木琴や胡弓、笛や歌も加わり、それを太鼓がリードする、アジア最大規模の合奏音楽です。楽器の形や音の美しさ、音楽の洗練度において、悠久の歴史を持つアジアの青銅楽器音楽の頂点に立つものと言えます。ガムランはジャワの宮廷文化のなかで完成され、現在も祈りの音楽として用いられています。また、村の祭りや結婚式など、人生の大事な節々に欠かすことのできないものであり、そのたおやかな響きは常にジャワの人々の生活を彩っています。

九州国立博物館では、アジアの青銅楽器についての文化交流展示<すず・かね・たいこ>の理解を深め、実体験を可能にするために、開館と同時にジャワのフル編成のガムランを導入し、筑紫女学園大学との地域連携のもと、演奏会と体験ワークショップを行ってきました。9周年を記念する本公演は、ジャワから最高レベルの演奏家と舞踊家を招へいし、本館所有の楽器を用いて行うものです。

〈中部ジャワを代表する楽舞団～サブトブドヨ〉

<サブトブドヨ>は、中部ジャワ、スラカルタの選りすぐりの演奏家たちを集めた楽舞団です。宮廷に伝承されてきた楽曲と演奏スタイルを継承し、現代に、そして次代に、美しく力強く昇華させようと活動を続けています。リーダーのサブトノは、スロカルト王家のガムラン楽舞団の統率者であり、作曲家でもあります。メンバーは王家ガムラン演奏家、国立芸術大学の教授陣、在野の名手たちからなり、その演奏と舞踊は、私たちを直ちにジャワのゆったりとした空気と濃密な香りの中に連れて行ってくれます。

Program プログラム

12/6^[土]

- 1 カルティ・ボナン:華やかな器楽曲
- 2 ガンビヨン:豊饒祈願の女性舞踊
- 3 スレンドロ音階による小曲のメドレー*
- 4 ベロッグ音階による小曲のメドレー*
- 5 スルヨ・ハミセソ:伝説の王を描いた男性舞踊

12/7^[日]

- 1 カルティ・ボナン:華やかな器楽曲
- 2 ガンビロアノム:伝説の武将を描いた男性舞踊
- 3 スレンドロ音階による小曲のメドレー*
- 4 ベロッグ音階による小曲のメドレー*
- 5 プリヤガマ:男女の愛を描いた二人の舞踊

(※6日と7日では、メドレーの曲目はすべて異なります。)

体験ワークショップ参加者募集!

「サブトブドヨ」の演奏家・舞踊家によるジャワ舞踊とガムランのワークショップを開催します。この機会に、本場の舞踊と音楽の魅力を実験してください。

ジャワ舞踊ワークショップ ※中絶での舞踊体験となります。

- とき 12/6(土)15:00～16:30
- ところ ミュージアムホール
- 定員 男性踊り20名・女性踊り20名(対象:中学生以上)
※要事前申し込み
- 参加費 1,000円

ガムランワークショップ ※床に座って(あくび)での演奏となります。

- とき 12/7(日)15:00～16:30
- ところ エントランスホール
- 定員 28名(対象:中学生以上)※要事前申し込み
- 参加費 1,000円